

人は嘘にて暮らす世に 何ぞよ燕子が実相を談じ顔なる

世間はちらりに過ぐる　ちらりちらり

何ともなやのう　何ともなやのう　うき世は風波の一葉よ

何ともなやのう　何ともなやのう　人生七十古来稀なり

ただ何事もかごとも　夢幻や水の泡　笠の葉に置く露の間に　あじきなき世や

夢幻や　南無三宝

くすむ人は見られぬ　夢の夢の夢の世を　うつつ顔して

何しようぞ　くすんで

一期は夢よ　ただ狂え

